Narration Within the Materials:
Curated by Amani Lewis

October 29th – December 17th, 2022

My Aunt Asked If That Was A Cloaca
2022
アクリル、キャンバス
40 x 60 inches
101.6 x 152.4 cm

スーザン・アルバレス（2000年生まれ）フロリダ州マイアミを拠点に活動。メリーランド・インスティテュート・カレッジ・オブ・アート (MICA) で美術学士号を取得。ミクストメディア・アーティストである彼女は、様々な社会政治的生態系の記録と視覚化として自身の活動を捉えています。彼女の作品は、ある種の食物連鎖に近似したネットワークを描き、動物的な性質とその環境と並行した主題を探求しています。ボルチモアのMt. Royal MansionとFox 2 Gallery, MICAのグループ展にて作品を展示。

https://www.instagram.com/lil_suzi_uzi/

Big Good Angel #35
2022
コーヒー, アクリル, チャコール, コーヒーフィルター, ミックスメディアコラージュ, 紙
58 x 50¼ inches
147.3 x 127.5 cm

ステファン・アーボイト（1987年生まれ）マイアミを拠点に活動。ニューヨーク州立大学パーチェス校でドローイングと絵画の基礎を学び、主に独学でアーティストとしての地位を確立した。自身の歴史、場所と空間、夢の情景、直感と意識の交錯に興味を持ち、精神的な変容と知性の進化をテーマに作品を制作しています。彼の作品は、Museum of Contemporary Art Miami、N'Namdi Contemporary（デトロイト）、Urban Institute for Contemporary Arts（グランドラピッズ）で個展およびグループ展を開催。またアルボイテの作品は、Jorge M. Pérez Art Museum（マイアミ）、Eric and Donna Johnson Collection; Arthur Primas Collection of African American Art に収蔵されている。

https://www.instagram.com/seleck/

For Whom The Bell Tolls
2018
アクリル, 写真, コラージュ, 木製パネル
30 x 60 inches
76.2 x 152.4 cm

シャーンテ・ゲイツ（1979年生まれ）ワシントンD.C.を拠点に活動。著名なデューク・エリントン・スクール・オブ・ザ・アーツとボウイ州立大学で学ぶ。ゲイツは、ミックスメディア絵画と映像という複数の媒体を駆使して、都市環境の忘れられた、あるいは廃棄された、あるいは疎外された側面を照らし出す作品を制作しています。個展を、Sperone Westwater（ニューヨーク）、Curtiss Jacobs Gallery（ハーレム、ニューヨーク）、Senate Square（ワシントンDC）で開催。ゲイツは、Smithsonian Institutionの「Men of Change」展；California African American Museum、Cincinnati Underground Railroad Museum、Washington State History Museumなど10の博物館、4年間にわたる巡回展（2019〜2022）にも参加。ニューヨークのStudio Museum of Harlem、Munson-Williams-Proctor Arts Instituteに作品が収蔵されている。

https://www.instagram.com/studio.gates/

Narration Within the Materials:
Curated by Amani Lewis

October 29th – December 17th, 2022

Dusk is for Lovers
2022
ミックスメディア, 木製パネル, モノタイプ, 油性絵画コラージュ
48¼ x 59¾ inches
122.8 x 151.9 cm

ジュリア・ゴールド（1999年生まれ）ボルチモアを拠点に活動。メリーランド・インスティテュート・カレッジ・オブ・アート（MICA）で2022年に美術学士号を取得。ゴールドは、身体の性質、そして愛、二元性、神話などの表象をどのようにその中に保持しているかに関心を寄せている。YoungArts Foundation（マイアミ）、Baltimore Museum of Art、Sheila and Richard Riggs Gallery（ボルチモア）でのグループ展に参加。Zuckerman Museum of Art, Southern Graphics Council International,（ジョージア）、University of Wisconsin-Madison（ウィスコンシン）、Dolphin Press and Print（ボルチモア）に作品が所蔵されている。

https://www.instagram.com/julia_gould.art/

Starburst and the Forest
2022
アクリル, グリッター, デジタルコラージュ, キャンバス
61¾ x 50 inches
156.7 x 127 cm

アマニ・レウィス（1994年生まれ）メリーランド州ボルチモアとフロリダ州マイアミを拠点に活動。2016年にメリーランド・インスティテュート・カレッジ・オブ・アート (MICA) で美術学士号を取得。ルイスは、都市生活と自然の関係性についての支配的で、しばしば操作され単純化された物語を転換することを目的としている。コミュニティに存在する物語の複雑さを提示し、被写体が自分自身、自分の力、都市との関係に対する視点を深めていく。個展を Salon 94（ニューヨーク）、August Wilson African American Cultural Center（ピッツバーグ）で開催。Black Wall Street Gallery（ニューヨーク）、Russ-Sutton Gallery（ニューヨーク）、CFHILL（ストックホルム）、De Buck Gallery（ニューヨーク）のグループ展にも出展されている。現在、LGDR（パリ）でヨーロッパ初個展を開催中。

https://www.instagram.com/amanilewis_/

Lady Pink
2022
毛糸, 紙, ポリフィル, 赤色グリッター
diameter: 29¾ inches
diameter: 75.8 cm

Baby Bangs
2022
毛糸
diameter: 30½ inches
diameter: 77.3 cm

Toy
2022
毛糸
diameter: 29¾ inches
diameter: 75.6 cm

ケンドラ・レウィス（1996年生まれ）コロラド州デンバーを拠点に活動。メリーランド・インスティテュート・カレッジ・オブ・アート (MIA) で2022年に美術学士号を取得。女性の視点を用い工芸、ファインアート、イラストレーション間のギャップを埋める様な制作をする。La Luz De Jesus Gallery（ロサンゼルス）、Alvin & Louise Myerberg Gallery、Sheila & Richard Riggs Gallery（ボルチモア）でのグループ展に参加。

https://www.instagram.com/sleepyb.mp3/

Narration Within the Materials:
Curated by Amani Lewis

October 29th – December 17th, 2022

J A I
2021
陶磁器, グリッター

18 x 7 x 9 inches
45.7 x 17.8 x 22.9 cm

ムルジョニ・メリウェザー（1996年生まれ）メリーランド州ボルチモアを拠点に活動。2018年にメリーランド・インスティテュート・オブ・アート (MICA) で美術学士号を取得。ブラックコミュニティの内外に未だに存在する黒人に対するネガティブなステレオタイプを関連付け、それを打ち消す様なポートレート彫刻やビデオを制作。肌の色を基準に存在する「美」という感覚に逆らうように制作を続ける。Jeffery Deitch、Band of Vices（ロサンゼルス）、Hannah Traore、Ross-Sutton Gallery（ニューヨーク）、CFHILL（ストックホルム）での展覧会に出展。また、Fountainhead（マイアミ）、Creative Alliance（ボルチモア）、Alma-Lewis Residency（ピッツバーグ）など、数多くのアーティストインレジデンスに参加しています。Rubell Museum、De La Cruz Collection（マイアミ）、The Bunker Artspace - the Collection of Beth Rudin DeWoody（パームビーチ）に作品が所蔵されている。

https://www.instagram.com/mvrjoni/

Beit Gemmayzeh
2022
アクリル, ウレタン, 染料, 石英, デジタルプリント, キャンバス

60 x 51 inches
152.4 x 129.5 cm

ジョー・ナナジアン（1996年生まれ）ボストンを拠点に活動。2018年にメリーランド・インスティテュート・カレッジ・オブ・アート (MICA) で美術学士号を取得。Nanajianの絵画は、アメリカ移民後、民族のアイデンティティを維持するという移民のジレンマと、アメリカンドリームに対して文化を保持することの重要性を表現しています。Sperone Westwater、New York City Arts Club（ニューヨーク）、August Wilson African American Cultural Center（ピッツバーグ）、Baltimore Office of Promotion and The Arts、Main O Gallery at MICA（ボルチモア）で、個展とグループ展を開催している。また、Fountainhead Residency（マイアミ）や、現在はBoston Center of the Arts（ボストン）のアーティストインレジデンスである。

https://www.instagram.com/jo_nanajian/

Consumed By A Red Bay
2022
アクリル, キャンバス

40 x 60 inches
101.6 x 152.4 cm

ゾーイ・シュヴァイガー（2000年生まれ）フロリダ州マイアミを拠点に活動。メリーランド・インスティテュート・カレッジ・オブ・アート (MICA) で2022年に美術学士号を取得。環境主義に重点を置き、コラージュ、映像、絵画を使用して、水位上昇の危険が迫った彼女の家、愛する人、環境の現状を描いている。Pinkard Gallery、Fox 2 Gallery（MICA、ボルチモア）、Bakehouse Art Complex（マイアミ）での個展及びグループ展にて展示。

https://www.instagram.com/zoesschweiger/

Narration Within the Materials:
Curated by Amani Lewis

October 29th – December 17th, 2022

TBT
2022
アクリル, ミックスメディア, キャンバス

60 x 48 inches
152.6 x 122.1 cm

ミスター・スターシティ（1979年生まれ）ニューヨークとロサンゼルスを拠点に活動する独学のアーティスト。個人的な経験からインスピレーションを受け、絵画、彫刻、詩、音楽、パフォーマンス、映像、写真など、さまざまな表現方法で、日常生活の美しさや情熱、葛藤を総合的に表現している。WOAW Gallery（香港）、Salon 94、XY Atelier（ニューヨーク）、Kantor Gallery（ビバリーヒルズ）、iv gallery（ロサンゼルス）で個展を開催。現在、Tiger Gallery（ロンドン）にて個展を開催中。

https://www.instagram.com/mrstarcity/

Human Sound
2022
油性, アクリル, Cmykインク, キャンバス

oil, acrylic, cmyk ink on canvas
80 x 73⅞ inches
203.2 x 187.6 cm

アリソン・ズッカーマン（1990年フィラデルフィア生まれ）ニューヨークを拠点に活動。2011年にイェール・ノーフォーク・スクール・オブ・アートでレジデントを務め、2012年にペンシルバニア大学で学士号を、2015年にシカゴ美術館付属美術学校で美術学修士号を取得。ズッカーマンは、ペイントとデジタル処理されたプリント画像を利用したハイブリッドなポートレートを通して、美術史の参照とインターネット文化を融合させ、より広い文化・社会批評を行っています。Rubell Family Collection（マイアミ）、Akron Art Museum（アクロン）、Herzilya Museum of Art（イスラエル）、Stems Gallery（パリ）、University of Florida（ゲインズビル）、Kravets Wehby Gallery（ニューヨーク）で個展を開催。またRubell Museum（マイアミ）、Akron Art Museum（アクロン）、Pizzuti Collection of the Columbus Museum of Art（コロンバス）、Marval Collection（ベルリン、ミラノ）などのパブリック・コレクションにも収蔵されている。

https://www.instagram.com/allisonzuckerman/